

「世界で最初に飢えるのは日本？」

お金を出せばいつでも食料が輸入できる時代が終わりを告げている一方で、農業従事者の平均年齢が68.7歳という衝撃的数字は、あと10年で日本の農業・農村が崩壊しかねないことを示している。しかも今のコスト高を価格転嫁できず赤字に苦しみ、崩壊のスピードは加速している。

私たちに残された時間は多くない。農業問題は消費者問題だ。安いものには必ずわけがある。頑張っている農家・農業・農村を守ることこそが、子どもたちの食と命を守る安全保障の一丁目一番地だ。今こそ、地域の種からつくる循環型食料自給圏を全国各地に構築して、生産から消費までを一体化した信頼のネットワークを広げ、子どもたちの未来を守ろう。

講師 **鈴木宣弘**(すずきのぶひろ)氏 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授



経歴

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。九州大学大学院教授を経て、2006年から東京大学大学院農学生命科学研究科教授、2024年4月から同特任教授。食料安全保障推進財団理事長を兼務。FTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、コーネル大学客員教授などを歴任。日本の食料安全保障問題の第一人者として食料危機への対応を訴え続ける。

『食の戦争』『農業消滅』『世界で最初に飢えるのは日本』『マンガでわかる日本の食の危機』『このままでは飢える！食料危機の処方箋』『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』等、著書多数。

日時：10月5日(土) 18:30~20:30

参加方法：現地参加(鹿児島市金生町7-87-ジャズビル8F会議室)

または、Web参加(Zoomウェビナー)

お申込み方法

<現地参加の方> 当協会宛てに本紙を FAX(099-272-9980) ください。

会場で () 名参加します。

お名前 ()

ご連絡先 ()

<Web参加の方> 本会ホームページ「今後の催しのご案内」、
または、右記の二次元コードよりお申込下さい。

※開催前までに、お申込みいただいたメールアドレス宛に
ご案内をお送りいたします。



お問い合わせ

鹿児島県保険医協会 事務局 ☎099-272-9970 ✉ kahokyou@yahoo.co.jp